

総括表（市町村）

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体は補填損増等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社 第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、母母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 国は情報提供の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値の無い欄については、すべてハイフン(―)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	17,135,681	37.7	15,815,922	63.1	普通税	15,815,922	92.3	99,166
地方譲与税	263,895	0.6	263,895	1.1	法定普通税	15,815,922	92.3	99,166
利子割交付金	9,603	0.0	9,603	0.0	市町村民税	8,979,405	52.4	99,166
配当割交付金	269,934	0.6	269,934	1.1	個人均等割	203,210	1.2	-
株式等譲渡所得割交付金	295,610	0.7	295,610	1.2	所得割	8,214,077	47.9	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	213,742	1.2	-
地方消費税交付金	2,393,656	5.3	2,393,656	9.6	法人税割	348,376	2.0	99,166
ゴルフ場利用税交付金	5,092	0.0	5,092	0.0	固定資産税	6,191,405	36.1	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	6,190,735	36.1	-
自動車取得税交付金	6,060	0.0	6,060	0.0	軽自動車税	189,110	1.1	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	456,002	2.7	-
自動車税環境性能割交付金	44,400	0.1	44,400	0.2	鉱産税	-	-	-
法人事業税交付金	104,263	0.2	104,263	0.4	特別土地保有税	-	-	-
地方特例交付金等	116,932	0.3	116,932	0.5	法定外普通税	-	-	-
地方特例交付金	107,056	0.2	107,056	0.4	目的税	1,319,759	7.7	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	9,876	0.0	9,876	0.0	法定目的税	1,319,759	7.7	-
地方交付税	6,259,670	13.8	5,638,065	22.5	入湯税	-	-	-
普通交付税	5,638,065	12.4	5,638,065	22.5	事業所税	-	-	-
特別交付税	621,605	1.4	-	-	都市計画税	1,319,759	7.7	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	水利地益税等	-	-	-
（一般財源計）	26,904,796	59.2	24,963,432	99.6	法定外目的税	-	-	-
交通安全対策特別交付金	10,319	0.0	10,319	0.0	旧法による税	-	-	-
分担金・負担金	217,300	0.5	-	-	合計	17,135,681	100.0	99,166
使用料	380,601	0.8	54,100	0.2				
手数料	331,104	0.7	-	-	区分	令和5年度	令和4年度	
国庫支出金	8,309,379	18.3	-	-	徴収率	現・計		
国有提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-	(%)	年		
都道府県支出金	3,257,182	7.2	-	-	合計	99.6	97.2	99.6 97.0
財産収入	52,023	0.1	27,232	0.1	市町村民税	99.6	98.1	99.6 97.9
寄附金	188,474	0.4	-	-	純固定資産税	99.6	96.0	99.6 95.8
繰入金	1,010,611	2.2	-	-				
繰越金	2,219,835	4.9	-	-	公営事業等への繰出	国民健康保険事業会計の状況		
諸収入	613,247	1.3	1,183	0.0	合計	5,942,852	-	-
地方債	1,976,000	4.3	-	-	下水道	1,018,470	-	-
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-	病院	998,803	-	12,933
うち臨時財政対策債	162,700	0.4	-	-	介護サービス	22,146	-	19,105
歳入合計	45,470,871	100.0	25,056,266	100.0	上水道	12,872	-	-
					国民健康保険	621,804	-	-
					その他	3,268,757	-	374

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、
単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	310,629	0.7	-	310,629	
総務費	4,853,636	11.1	319,954	3,852,235	
民生費	17,674,597	40.6	119,169	9,771,437	
衛生費	7,737,638	17.8	2,773,691	4,419,032	
労働費	11,458	0.0	-	11,458	
農林水産業費	156,001	0.4	13,850	132,428	
商工費	393,668	0.9	-	378,731	
土木費	3,151,743	7.2	525,775	2,712,697	
消防費	1,513,573	3.5	191,834	1,350,572	
教育費	5,017,244	11.5	569,066	4,047,181	
災害復旧費	18,532	0.0	-	18,532	
公債費	2,736,512	6.3	-	2,736,512	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	43,575,231	100.0	4,513,339	29,741,444	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	20,871,283	47.9	14,059,337	12,238,881	48.5
人件費	7,943,550	18.2	7,574,842	6,804,809	27.0
うち職員給	5,096,386	11.7	4,866,448	-	-
扶助費	10,191,221	23.4	3,747,983	2,697,560	10.7
公債費	2,736,512	6.3	2,736,512	2,736,512	10.9
元利償還金	2,736,512	6.3	2,736,512	2,736,512	10.9
うち元金	2,713,103	6.2	2,713,103	2,713,103	10.8
うち利子	23,409	0.1	23,409	23,409	0.1
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	18,172,077	41.7	14,482,479	10,519,044	41.7
物件費	8,003,636	18.4	6,203,974	5,578,822	22.1
維持補修費	158,896	0.4	154,474	133,021	0.5
補助費等	4,338,201	10.0	3,403,373	1,658,100	6.6
うち一部事務組合負担金	6,549	0.0	6,549	5,975	0.0
繰出金	3,912,707	9.0	3,167,174	3,149,101	12.5
積立金	1,397,284	3.2	1,192,658	-	-
投資・出資金・貸付金	361,353	0.8	360,826	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	4,531,871	10.4	1,199,628	-	-
うち人件費	127,815	0.3	127,815	-	-
普通建設事業費	4,513,339	10.4	1,181,096	-	-
うち補助	2,125,961	4.9	70,699	-	-
うち単独	2,383,614	5.5	1,107,288	-	-
災害復旧事業費	18,532	0.0	18,532	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	43,575,231	100.0	29,741,444	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1	一般会計	45,602	43,707	1,896	1,643	-	13,605	
2	公共施設整備基金特別会計	0	0	-	-	-	-	
3								
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								実質赤字額
計	一般会計等(純計)	45,471	43,575	1,896	1,643		13,114	-

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

	会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1	介護保険特別会計	9,745	9,745	-	-	1,553	-	-	-	
2	国民健康保険特別会計	10,810	10,810	-	-	618	-	-	-	
3	後期高齢者医療特別会計	2,584	2,576	9	9	399	-	-	-	
4	水道事業会計	2,624	2,551	72	3,422	13	-	-	-	法適用企業
5	下水道事業会計	2,646	2,200	446	15	1,018	6,828	4,356	-	法適用企業
6	病院事業会計	797	714	83	54	449	729	466	-	法適用企業
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										連結実質赤字額
計	公営企業会計等				3,500		7,557	4,822		-

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

	一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうち一般会計等繰入見込額	備考
1	奈良県市町村総合事務組合	4,092	4,075	16	16	10	-	-	
2	奈良県後期高齢者医療広域連合	302	280	23	23	193	-	-	
3									
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
計	一部事務組合等				39		-	-	

公債費負担の状況

実質公債費比率（千円・％）		令和3年度				令和4年度				令和5年度				分母比			
区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
元利償還金		2,944,001	2,966,717	2,808,658	12.7	2,944,001	2,966,717	2,808,658	12.7	2,944,001	2,966,717	2,808,658	12.7	2,944,001	2,966,717	2,808,658	12.7
減債基金積立不足算定額		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準元利償還金	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1,043,130	1,046,399	1,048,556	4.7	1,043,130	1,046,399	1,048,556	4.7	1,043,130	1,046,399	1,048,556	4.7	1,043,130	1,046,399	1,048,556	4.7
	組合等が起した地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	123,869	123,920	123,970	0.6	123,869	123,920	123,970	0.6	123,869	123,920	123,970	0.6	123,869	123,920	123,970	0.6
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	(A)	4,111,000	4,137,036		(A)	4,111,000	4,137,036		(A)	4,111,000	4,137,036		(A)	4,111,000	4,137,036	
債務負担行為	内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
	PFI事業に係るもの	123,869	123,920	123,970	0.6	123,869	123,920	123,970	0.6	123,869	123,920	123,970	0.6	123,869	123,920	123,970	0.6
	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	その他上記に準ずるもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	利子補給に係るもの	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特定財源の額		(B)	895,065	863,882		(B)	895,065	863,882		(B)	895,065	863,882		(B)	895,065	863,882	
標準財政規模		(C)	24,965,254	24,500,418		(C)	24,965,254	24,500,418		(C)	24,965,254	24,500,418		(C)	24,965,254	24,500,418	
算入公債費等の額		(D)	2,778,774	2,790,585		(D)	2,778,774	2,790,585		(D)	2,778,774	2,790,585		(D)	2,778,774	2,790,585	
		(C)-(D)	22,186,480	21,709,833		(C)-(D)	22,186,480	21,709,833		(C)-(D)	22,186,480	21,709,833		(C)-(D)	22,186,480	21,709,833	
実質公債費比率		(単年度)	2.0	2.2	1.7	(単年度)	2.0	2.2	1.7	(単年度)	2.0	2.2	1.7	(単年度)	2.0	2.2	1.7
		(3年平均)	3.9	2.3	1.9	(3年平均)	3.9	2.3	1.9	(3年平均)	3.9	2.3	1.9	(3年平均)	3.9	2.3	1.9

将来負担の状況

将来負担比率（千円・％）		令和3年度				令和4年度				令和5年度				分母比			
区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	16,532,364	14,403,541	13,605,163	61.5	16,532,364	14,403,541	13,605,163	61.5	16,532,364	14,403,541	13,605,163	61.5	16,532,364	14,403,541	13,605,163	61.5
	債務負担行為に基づく支出予定額	1,499,940	1,383,963	1,267,303	5.7	1,499,940	1,383,963	1,267,303	5.7	1,499,940	1,383,963	1,267,303	5.7	1,499,940	1,383,963	1,267,303	5.7
	公営企業債等繰入見込額	6,883,261	5,868,377	4,822,100	21.8	6,883,261	5,868,377	4,822,100	21.8	6,883,261	5,868,377	4,822,100	21.8	6,883,261	5,868,377	4,822,100	21.8
	組合等負担等見込額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額	6,305,823	6,327,691	6,350,799	28.7	6,305,823	6,327,691	6,350,799	28.7	6,305,823	6,327,691	6,350,799	28.7	6,305,823	6,327,691	6,350,799	28.7
	設立法人等の負債額等負担見込額	16,023	10,626	-	-	16,023	10,626	-	-	16,023	10,626	-	-	16,023	10,626	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	合計	(E)	31,237,411	27,994,198	26,045,365	(E)	31,237,411	27,994,198	26,045,365	(E)	31,237,411	27,994,198	26,045,365	(E)	31,237,411	27,994,198	26,045,365
将来負担比率	将来負担比率((E)-(F))/((C)-(D))×100	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	健全化判断比率	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準		令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準		令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準		令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準	
	実質赤字比率	-	12.09	20.00		-	12.09	20.00		-	12.09	20.00		-	12.09	20.00	
	連結実質赤字比率	-	17.09	30.00		-	17.09	30.00		-	17.09	30.00		-	17.09	30.00	
	実質公債費比率	1.9	25.0	35.0		1.9	25.0	35.0		1.9	25.0	35.0		1.9	25.0	35.0	
	将来負担比率	-	350.0			-	350.0			-	350.0			-	350.0		
	公債費負担比率	令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準		令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準		令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準		令和5年度	早期健全化基準	財政再生基準	
	実質赤字比率	-	12.09	20.00		-	12.09	20.00		-	12.09	20.00		-	12.09	20.00	
	連結実質赤字比率	-	17.09	30.00		-	17.09	30.00		-	17.09	30.00		-	17.09	30.00	
	実質公債費比率	1.9	25.0	35.0		1.9	25.0	35.0		1.9	25.0	35.0		1.9	25.0	35.0	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名		経常損益	純資産又は 正味財産	当該団体 からの 出資金	当該団体 からの 補助金	当該団体 からの 貸付金	当該団体からの 債務保証に 係る債務残高	当該団体からの 損失補償に 係る債務残高	一般会計等 負担見込額	備考
1	生駒土地開発公社	0	46	5	-	-	-	-	-	
2	一般財団法人生駒市メディカルセンター	3	135	1	-	-	-	-	-	
3	いこま市民パワー	▲ 20	51	8	-	-	-	-	-	
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10										
11										
12										
13										
14										
15										
16										
17										
18										
19										
20										
21										
22										
23										
24										
25										
26										
27										
28										
29										
30										
31										
32										
33										
34										
35										
36										
37										
38										
39										
40										
41										
42										
43										
44										
45										
46										
47										
48										
49										
50										
51										
52										
53										
54										
55										
56										
57										
58										
59										
60										
61										
62										
63										
64										
65										
66										
67										
68										
69										
70										
71										
72										
73										
74										
75										
76										
77										
78										
79										
80										
81										
82										
計	地方公社・第三セクター等			14	-	-	-	-	-	

令和5年度	奈良県生駒市
-------	--------

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- T 類似団体内の
最大値及び最小値

ラスパイレス指数の分析

令和5年4月1日現在のラスパイレス指数は**100.5**となったが、これは人事評価制度等を活用した積極的な若手昇用や、継続して職員の新規採用を行っていること等により給料月額が国と比べて高くなっている層があるためで、引き続き、給与体系等の見直しを進めつつ、適正な人事配置と行政効率の高い組織づくりを進めていく必要がある。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

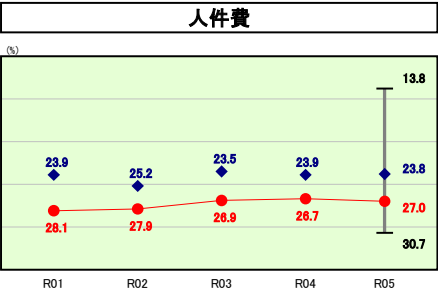
令和5年度

奈良県生駒市

経常収支比率の分析

人	口	117,332	人(R6.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%						
うち日本人	口	115,870	人(R6.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率	-	%				
面積	積	53.15	km ²	実	質	公	債	費	比	率	1.9	%					
歳入総額		45,470,871	千円	得	来	負	担	比	率	-	%						
歳出総額		43,575,231	千円	市	町	村	類	型	R01	Ⅲ-3	R02	Ⅲ-3	R03	Ⅲ-3			
実質収支		1,643,157	千円	(	年	度	毎	)	R04	Ⅲ-3	R05	Ⅲ-3					
標準財政規模		24,862,564	千円														
地方債現在高		13,114,212	千円														

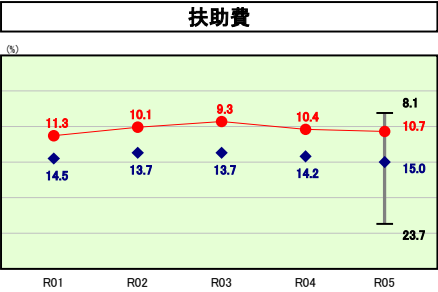
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 47/62 全国平均 25.5 奈良県平均 26.3

人件費の分析欄

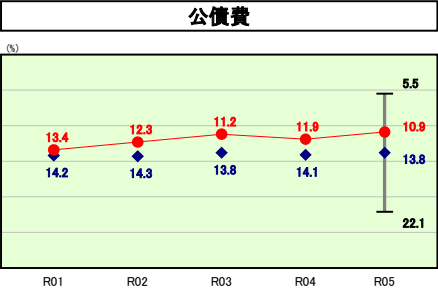
南北に細長い市形に起因し、各種公共施設を多く設置していることから人件費に係るものは類似団体平均と比較して高い水準にある。令和5年度は前年度と比較して、給与改定等により0.3ポイント上昇した。今後においても人員の適正配置等により、人件費の抑制に努める必要がある。



類似団体内順位 4/62 全国平均 13.2 奈良県平均 10.6

扶助費の分析欄

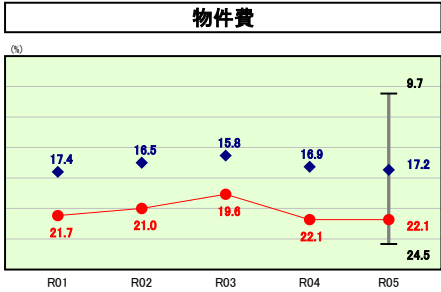
令和5年度においては、障がい福祉サービス費等の増により前年度より0.3ポイント上昇しており、今後も社会福祉費全体として増加傾向は続いていくものと予想されるため、財政を過度に圧迫することがないよう福祉政策の見直し等を検討していく必要がある。



類似団体内順位 14/62 全国平均 15.9 奈良県平均 17.3

公債費の分析欄

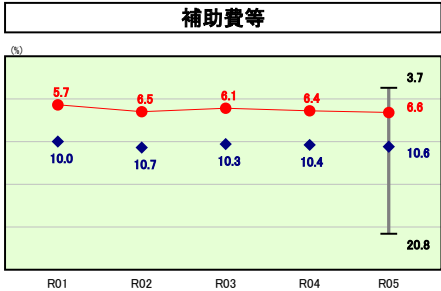
平成24年度までは類似団体平均を上回っていたが、繰上償還等の実施により、平成25年度は類似団体平均値となり、平成26年度以降においては、類似団体平均を下回っている。今後も新規発行債の精査を行い、元利償還金の増加抑制に努める必要がある。



類似団体内順位 57/62 全国平均 15.2 奈良県平均 16.2

物件費の分析欄

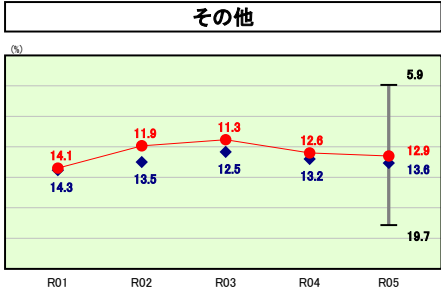
人件費同様、南北に細長い市形であり、各種公共施設を多く有していることから、施設の維持管理費用等により、例年、類似団体平均を上回っている。令和5年度においては前年度から続く原油高や物価高の影響により、物件費割合が高い状態が続いている。物価高騰等の影響は来年度以降も引き続き受けることが予想されるため、施設配置や事務事業の見直しによって縮減を図る必要がある。



類似団体内順位 10/62 全国平均 10.7 奈良県平均 10.2

補助費等の分析欄

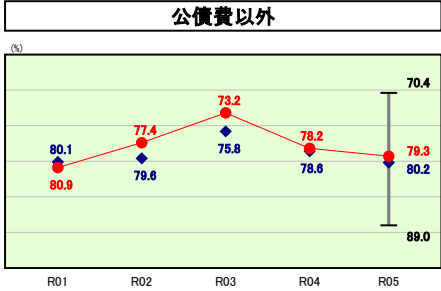
公定価格等の増による幼稚園・保育園施設型給付費等負担金の増加や給与改定等による児童育成クラブ運営助成金の増加により前年度と比較して0.2ポイント上昇したものの、本市は一部事務組合や各種団体に対する支出が少ないことから、例年、類似団体平均を下回っているものと考えられる。また、補助金の見直しもっており、今後も引き続き廃止や適正化に向けた取り組みの継続が必要である。



類似団体内順位 24/62 全国平均 12.6 奈良県平均 13.3

その他の分析欄

令和5年度においては、物価高の影響による施設やインフラの維持補修費の増があったほか、後期高齢者医療特別会計や介護保険特別会計などへの繰出金の増によって数値が上昇した。高齢化に伴う社会保障経費の増加は、今後さらに進行していくため、健康寿命の延伸に向けた取組みが重要となる。



類似団体内順位 26/62 全国平均 77.2 奈良県平均 76.6

公債費以外の分析欄

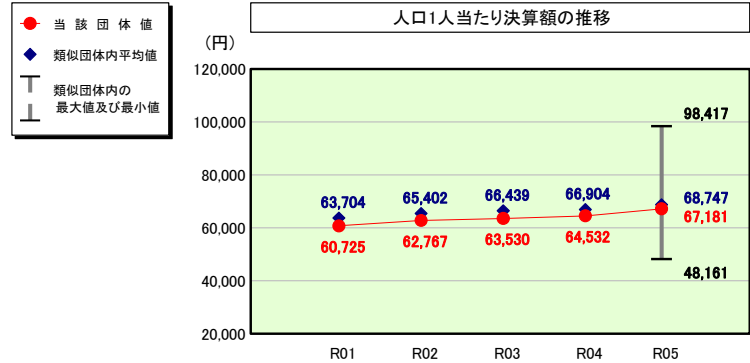
令和5年度における公債費以外の各性質別経常収支比率は、前年度と比較して横ばいまたは上昇している。市税や県税交付金、普通交付税等が増加したことにより経常一般財源は増加したものの、給与改定や物価高騰、高齢化等の影響により経常経費充当一般財源が増加した。列挙した理由はどれも短期的な緩和が見込めないことから、行財政改革や事務事業の見直し等を進めて、経常経費の削減に努める必要がある。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

奈良県生駒市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

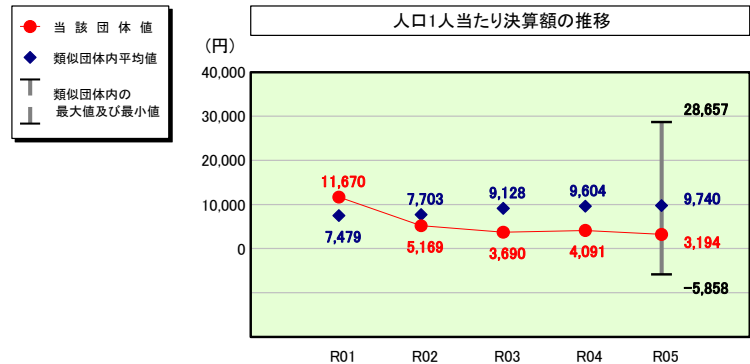
人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	7,943,550	67,701	63,160	7.2
一部事務組合負担金(補助費等)	1,256	11	4,257	▲99.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	595	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	9	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	198,924	1,695	2,608	▲35.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	127,815	1,089	1,202	▲9.4
▲退職金	▲389,073	▲3,316	▲3,084	7.5
合計	7,882,472	67,181	68,747	▲2.3

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.43	6.22	0.21
ラスバイレス指数	100.5	98.7	1.8

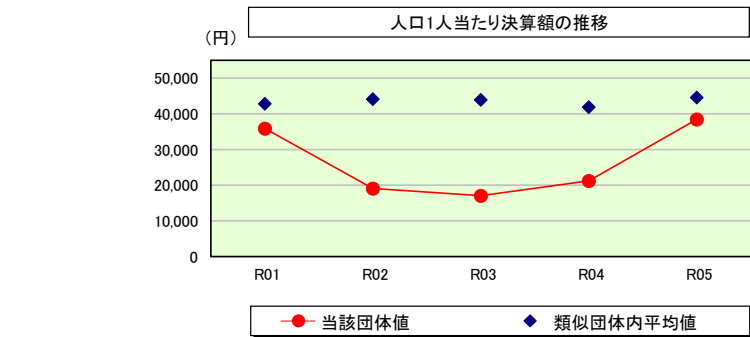
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	2,808,658	23,938	33,476	▲28.5
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	23	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,048,556	8,937	5,696	56.9
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	1,273	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	123,970	1,057	486	117.5
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲865,045	▲7,373	▲6,136	20.2
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲2,741,384	▲23,364	▲25,079	▲6.8
合計	374,755	3,194	9,740	▲67.2

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体 (円)	増減率 (%) (A)	類似団体平均 (円)	増減率 (%) (B)	(A)-(B)
R01	4,288,065	35,888	88.8	42,836	▲0.9	89.7
うち単独分	2,187,069	18,304	29.1	22,936	1.4	27.7
R02	2,269,003	19,081	▲46.8	44,161	3.1	▲49.9
うち単独分	1,411,464	11,869	▲35.2	23,644	3.1	▲38.3
R03	2,022,003	17,065	▲10.6	43,955	▲0.5	▲10.1
うち単独分	1,344,981	11,351	▲4.4	21,318	▲9.8	5.4
R04	2,503,611	21,227	24.4	41,921	▲4.6	29.0
うち単独分	1,841,498	15,613	37.5	21,655	1.6	35.9
R05	4,513,339	38,466	81.2	44,585	6.4	74.8
うち単独分	2,383,614	20,315	30.1	23,077	6.6	23.5
過去5年間平均	3,119,204	26,345	27.4	43,492	0.7	26.7
うち単独分	1,833,725	15,490	11.4	22,526	0.6	10.8

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

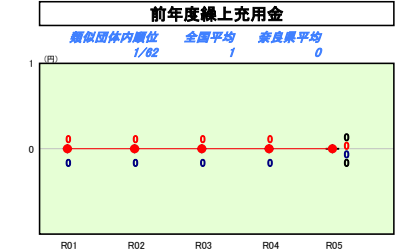
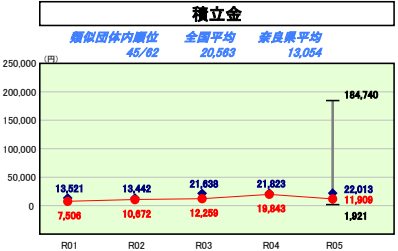
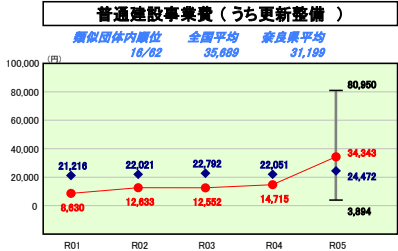
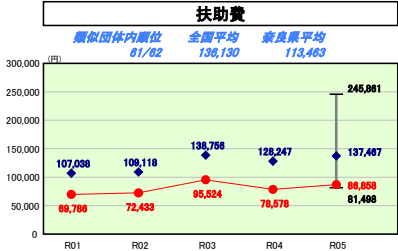
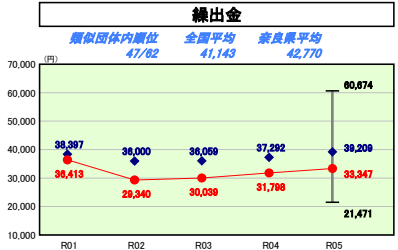
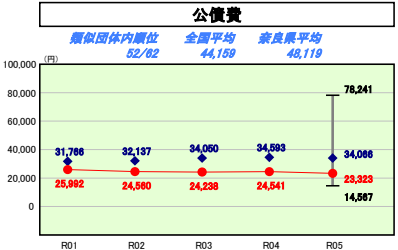
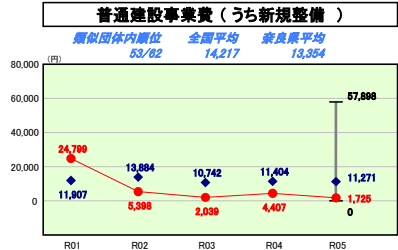
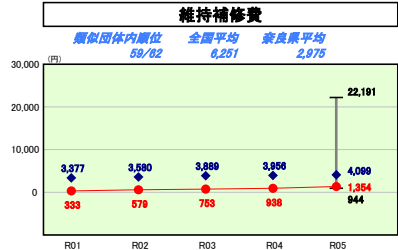
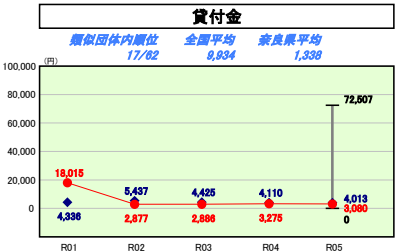
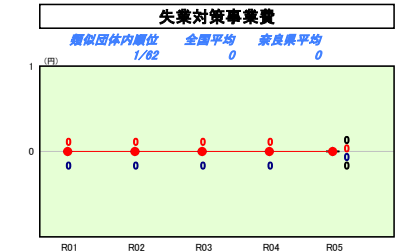
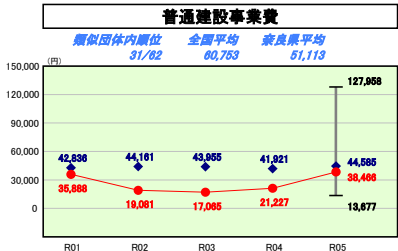
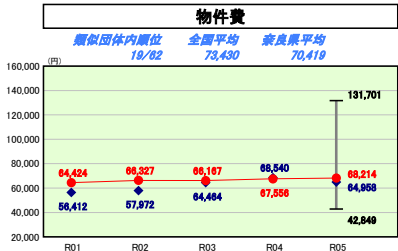
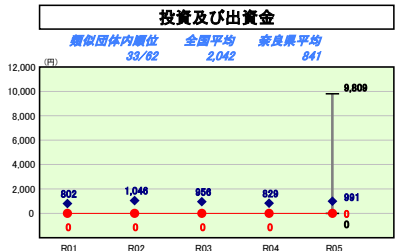
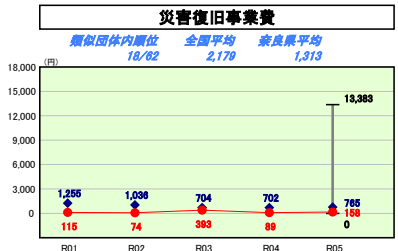
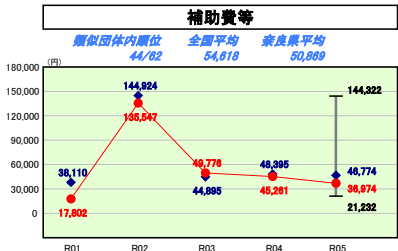
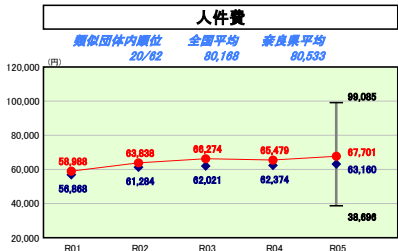
令和5年度

奈良県生駒市

人口	117,332人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	115,870人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	53.15km ²	実質公債費比率	1.9%
入総額	45,470,871千円	将来負担比率	-%
出総額	43,576,251千円	市町村類型	R01Ⅲ-3 R02Ⅲ-3 R03Ⅲ-3
実収支	1,843,157千円	(年度毎)	R04Ⅲ-3 R05Ⅲ-3
標準財政規模	24,862,564千円		
地方債現在高	13,114,212千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と云う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

前年度と比較すると普通建設事業費が増加しており、中でも更新整備分が大幅に増加している。これは清掃センター基幹的設備改良工事が本格化と庁舎非常用電源設備更新工事を実施したことによるものである。扶助費においても増加しており、これは非課税世帯等に対する給付金事業が単価や対象者を変えながら継続しており、子育て世帯に対する加算給付金が新たに追加されたことによるものである。
補助費等は前年度まで実施していた医療提供体制整備事業や中小企業等事業継続支援事業、水道料金の一部減免に係る水道事業会計補助金などの新型コロナウイルス対策事業が減少したことによるものである。積立金は令和3年度より令和4年度実質収支が大幅に減少したことにより決算剰余金の積立が減少したことによるものである。
これらの増減は臨時的なものであるが、人件費や物件費の増加については給与改定や物価高騰に伴うものであり、令和5年度限りの増加要因ではない。本市は南北に細長い地形により数ある公共施設の維持管理費や人件費が経常的にかかっており、類似団体平均と比較しても高い水準にある。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

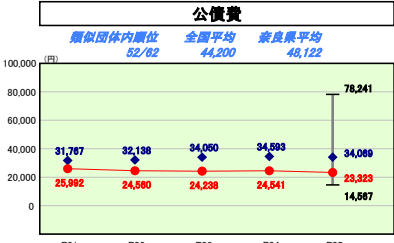
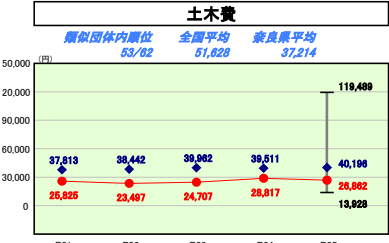
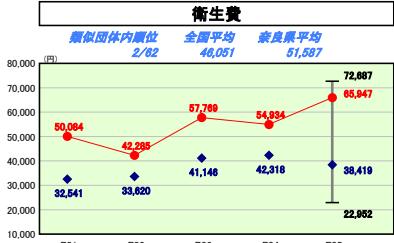
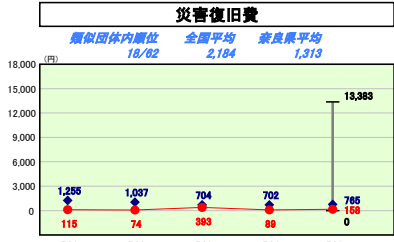
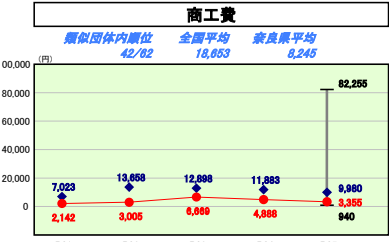
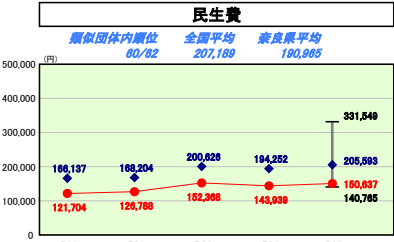
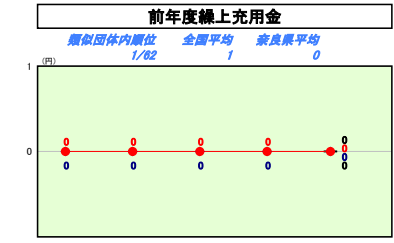
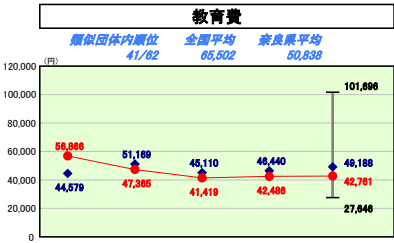
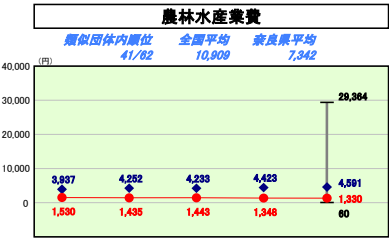
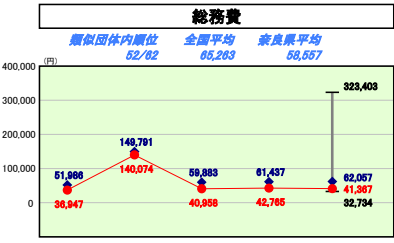
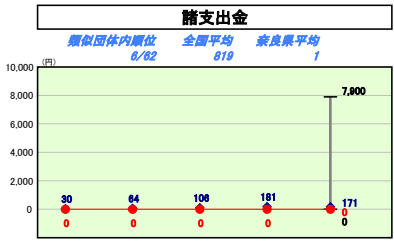
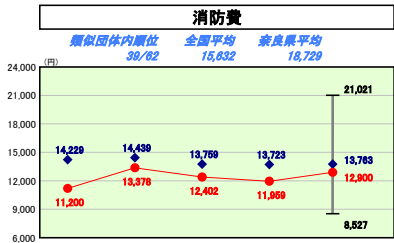
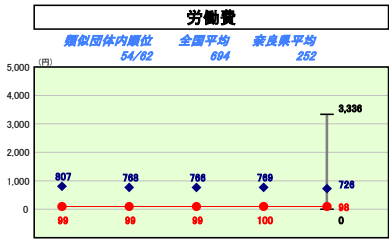
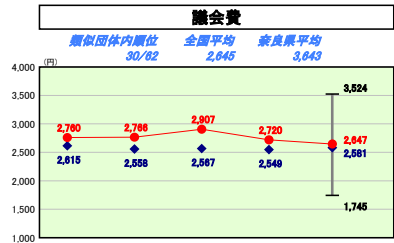
令和5年度

奈良県生駒市

人口	117,332人(R6.1.1現在)	実質赤字比率	-%
うち日本人	115,870人(R6.1.1現在)	連結実質赤字比率	-%
面積	53.15km ²	実質公債費比率	1.9%
総人口	45,470,871円	将来負担比率	-%
総世帯数	43,576,231円	市町村類型	R01Ⅲ-3 R02Ⅲ-3 R03Ⅲ-3
実質収入	1,643,157千円	(年度毎)	R04Ⅲ-3 R05Ⅲ-3
標準財政規模	24,862,564千円		
地方債現在高	13,114,212千円		



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と云う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



目的別歳出の分析

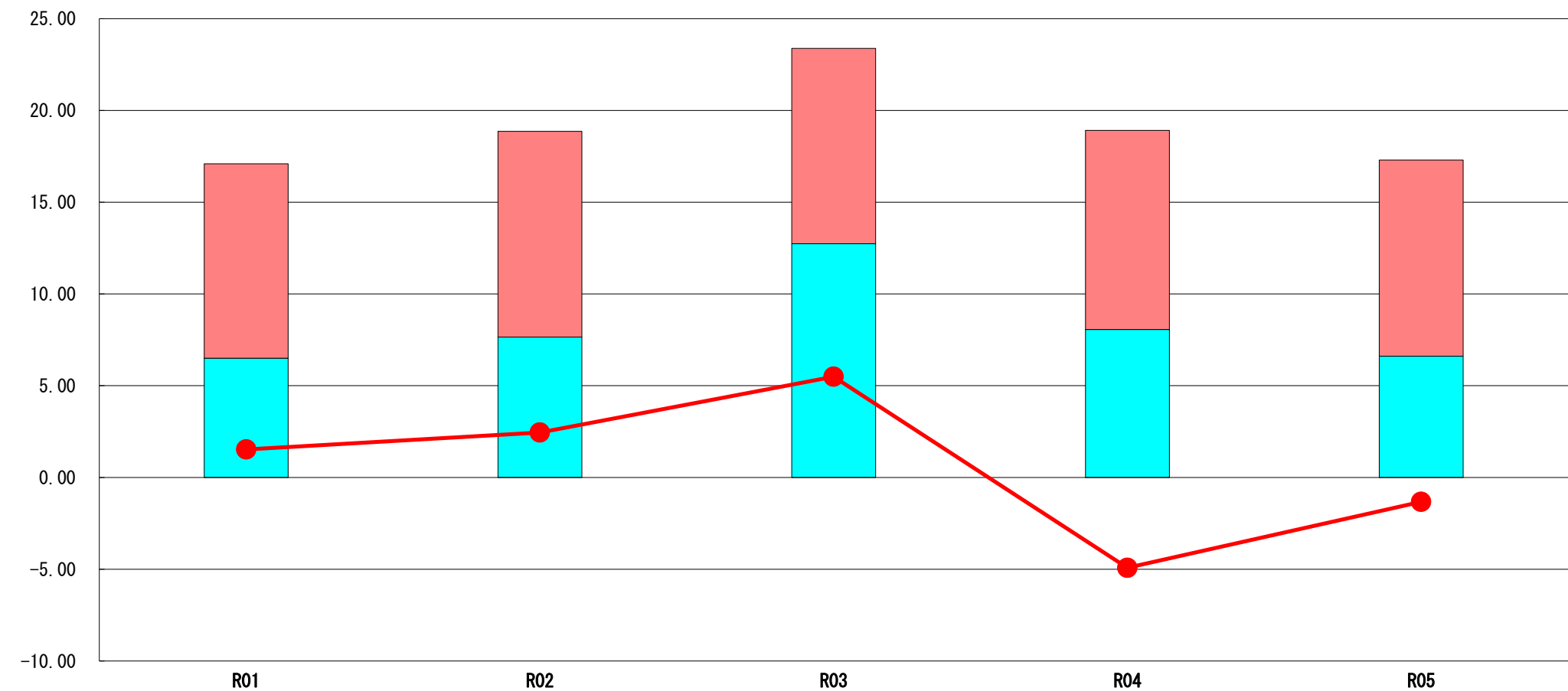
前年度と比較すると、衛生費は新型コロナウイルス対策として実施していた医療提供体制整備事業や水道料金の一部減免に係る水道事業会計補助金が減少したものの、清掃センター基幹的設備改良事業が本格化したことにより大幅に増加した。民生費は非課税世帯等に対する給付金事業が単価や対象者を変えながらも継続しており、子育て世帯に対する加算給付金が新たに追加されたことなどにより増加した。土木費は橋梁予防保全事業や新型コロナウイルス対策として実施していた公共交通事業継続支援事業により減少した。総務費は庁舎非常用電源設備更新工事により普通建設事業費が増加したものの、令和3年度より令和4年度実質収支が大幅に減少したことにより決算剰余金の積立が減少したことにより全体として減少した。商工費は中小企業等への賃上げ促進給付金が増加したものの、物価高騰対策給付金が減少したことにより全体として減少した。全体としては、普通建設事業や物価高騰対策事業などの実施による増が見られるものの、新型コロナウイルス関連事業が縮小したことによる減が大きい。しかし、来年度以降も大規模な普通建設事業が続く計画となっており、これに伴う公債費の増加が見込まれることから、必要経費の十分な精査と財源の確保が必須である。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和5年度

奈良県生駒市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	R01	R02	R03	R04	R05
財政調整基金残高		10.59	11.21	10.64	10.85	10.69
実質収支額		6.50	7.65	12.74	8.06	6.61
実質単年度収支		1.53	2.45	5.49	▲ 4.92	▲ 1.33

分析欄

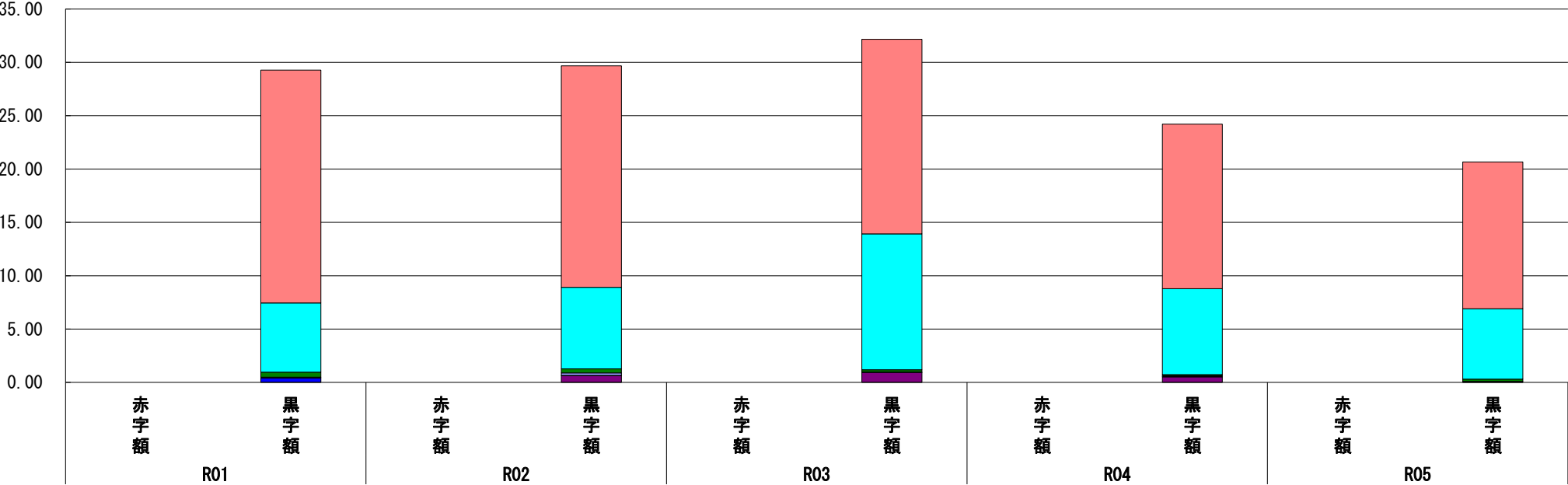
清掃センター基幹的設備改良事業の本格化等により前年度に比べ歳出決算額は増加したものの、地方債の借入の抑制や、基金に頼らない財政運営を目指し過度な繰り入れを避けたことなどにより、実質収支が前年度より減少したため、実質単年度収支はマイナスとなった。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和5年度

奈良県生駒市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		標準財政規模比（％）				
会計		R01	R02	R03	R04	R05
水道事業会計		21.83	20.77	18.24	15.43	13.76
一般会計		6.49	7.64	12.73	8.05	6.60
病院事業会計		0.47	0.39	0.20	0.12	0.21
下水道事業会計		-	0.22	0.06	0.07	0.06
後期高齢者医療特別会計		0.02	0.01	0.02	0.02	0.03
公共施設整備基金特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
介護保険特別会計		0.07	0.65	0.91	0.52	0.00
国民健康保険特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.40	-	-	-	-

分析欄

一般会計等は、清掃センター基幹的設備改良事業の本格化等により前年度に比べ歳出決算額は増加したものの、地方債の借入の抑制や、基金に頼らない財政運営を目指し過度な繰り入れを避けたことなどにより、黒字比率は前年度より低下した。

水道事業会計については、配水施設の整備や水道管の更新などの建設改良費の支出に伴い、現金預金が減少したため、黒字比率は前年度より低下した。

介護保険特別会計については、保険給付費が増額となったことや介護保険料の負担軽減を行ったことなどにより財源が不足したものの、介護保険介護給付費準備基金からの繰り入れを行ったことにより収支均衡となった。

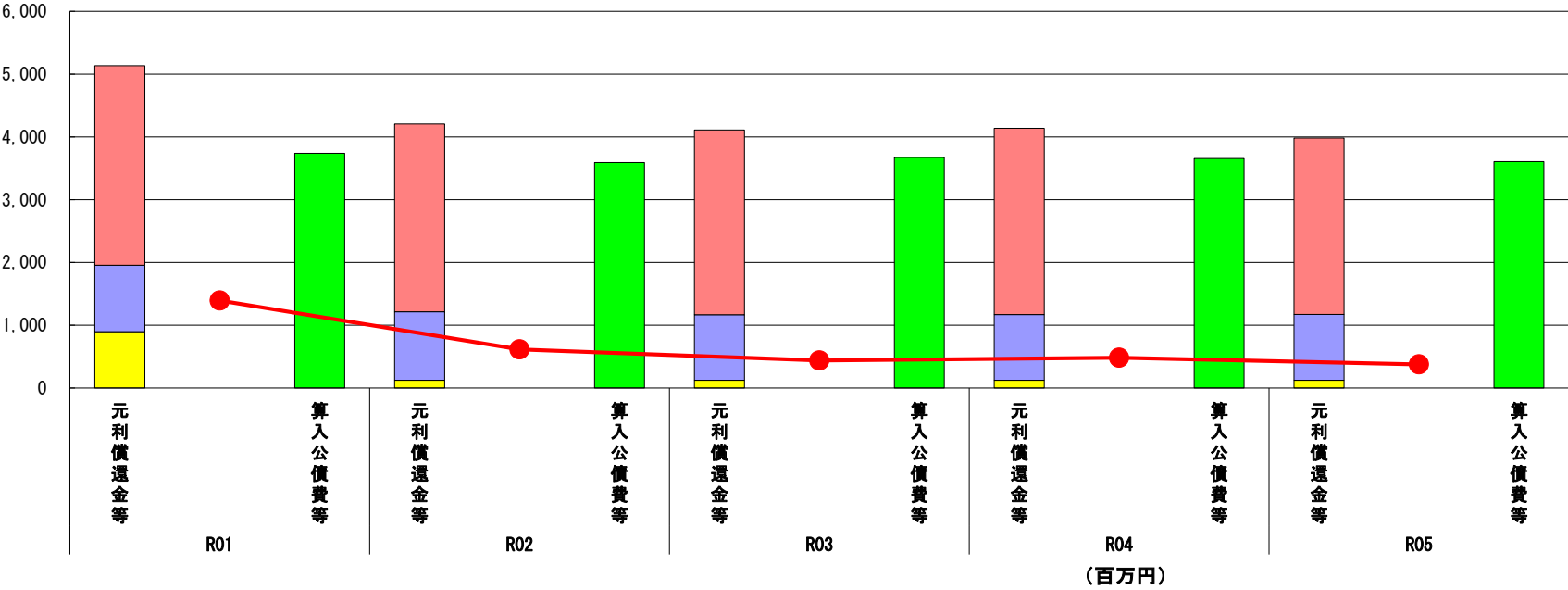
全会計の黒字比率は24.25%から20.68%に低下したものの、連結実質赤字比率がないことについては平成19年度から変わらない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

奈良県生駒市

(百万円)



分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等 (A)	元利償還金		3,178	2,993	2,944	2,967	2,809
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,058	1,090	1,043	1,046	1,049
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		898	124	124	124	124
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		3,740	3,592	3,673	3,655	3,606
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		1,394	615	438	482	376

分析欄
令和5年度は前年度と比較して、標準財政規模の増加、一般会計等の元利償還金の減少等により、単年度の比率が前年度から改善し、3ヶ年平均においても、前年度2.3%から1.9%に0.4ポイント改善した。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D) / (E))

(参考)		年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)						
	前年度末減債基金残高 (D)						
	前年度末減債基金積立相当額 (E)						

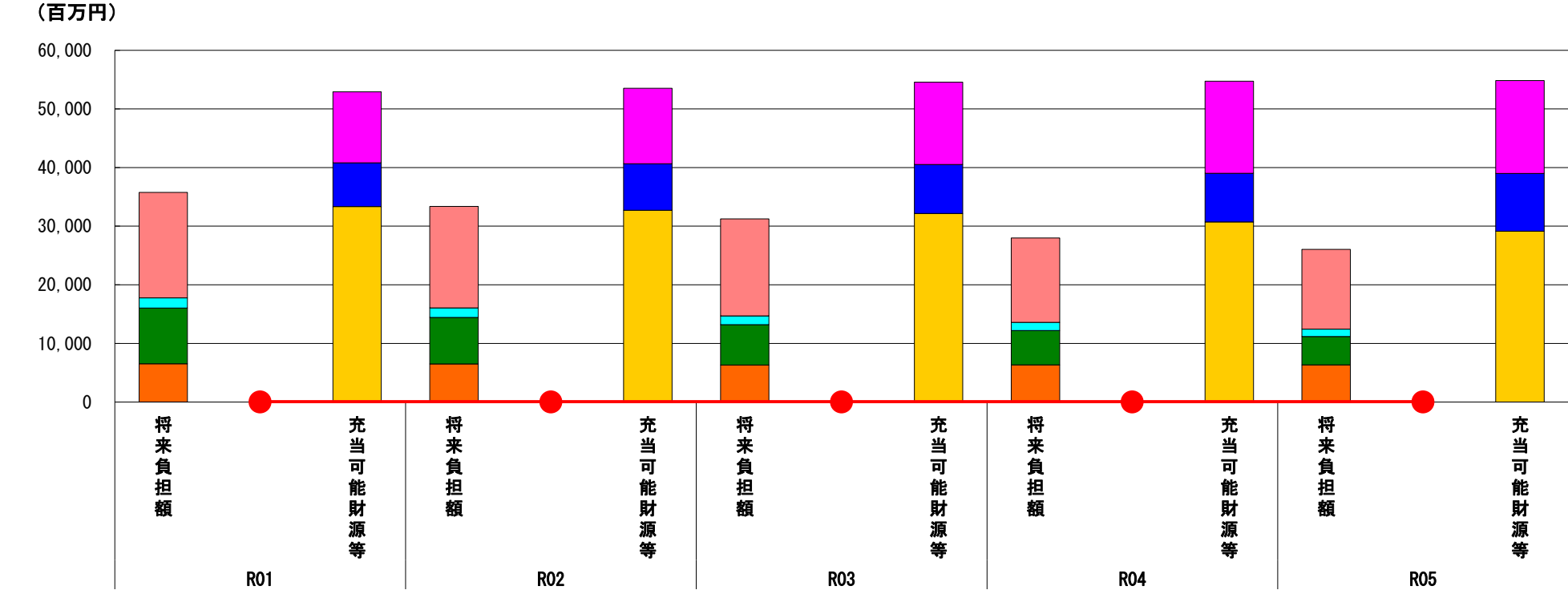
分析欄
該当なし

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和5年度

奈良県生駒市



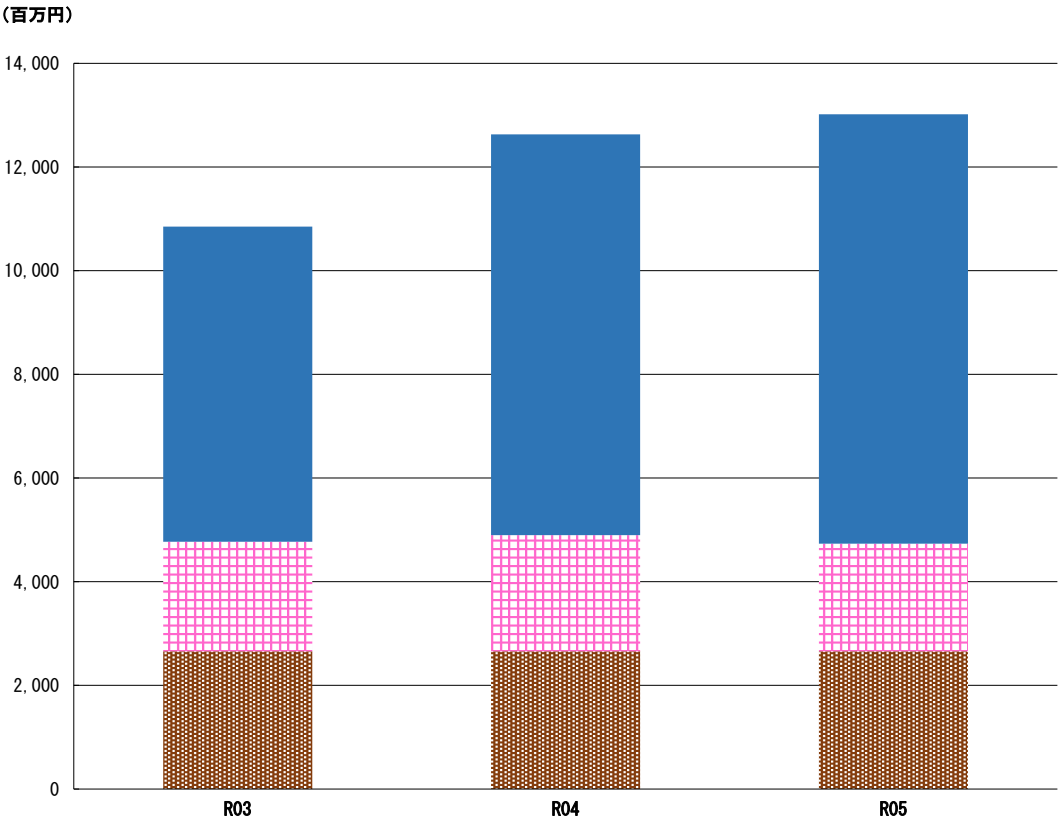
(百万円)

分子の構造		年度	R01	R02	R03	R04	R05
将来負担額 (A)	一般会計に係る地方債の現在高		18,005	17,322	16,532	14,404	13,605
	債務負担行為に基づく支出予定額		1,730	1,615	1,500	1,384	1,267
	公営企業債等繰入見込額		9,525	7,937	6,883	5,868	4,822
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		6,494	6,505	6,306	6,328	6,351
	設立法人等の負債額等負担見込額		21	-	16	11	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		12,135	12,875	14,062	15,718	15,849
	充当可能特定歳入		7,450	7,950	8,349	8,292	9,847
	基準財政需要額算入見込額		33,345	32,708	32,168	30,724	29,142
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 17,156	▲ 20,155	▲ 23,341	▲ 26,740	▲ 28,793

分析欄

令和5年度は前年度と比べて、将来負担額において一般会計等の地方債現在高や公営企業債の償還に充てる繰出見込額等が減少するとともに、充当可能基金残高の増加等により充当可能財源等も増加し、黒字の比率は7.0ポイント上昇した。なお、将来負担比率がないことは平成19年度から変わらない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



		(百万円)		
区分	年度	R03	R04	R05
財政調整基金		2,657	2,657	2,658
減債基金		2,114	2,242	2,077
その他特定目的基金		6,079	7,732	8,283
	職員退職給与基金	1,726	1,899	2,073
	公共施設等総合管理基金	1,149	1,740	1,918
	北部地域整備促進基金	1,779	1,766	1,749
	こども未来基金	0	800	1,061
	公共施設整備基金	830	830	830
基金残高合計		10,850	12,632	13,018

令和5年度	奈良県生駒市
基金全体 (増減理由) 令和5年度については、令和4年度決算剰余金の一部を減債基金・公共施設等総合管理基金・こども未来基金に積み立てたことにより増加した。 職員退職給与基金の取り崩しを行わず、予定していた積み立てのみを行ったことで増加した。 (今後の方針) 社会保障関係費の増加や公共施設の大規模改修等に伴い、年々財政状況も厳しくなっており、目的に合った効果的な基金の活用を進めていく。	
財政調整基金 (増減理由) 基金利子分を積み立てたため増加した。 (今後の方針) 不測の事態に備えて、財政調整基金の残高は標準財政規模の1割程度を保持していく。	
減債基金 (増減理由) 決算剰余金の一部を積み立てたものの、取崩額の方が多かったため全体として減少した。 (今後の方針) 臨時財政対策債等の償還などを予定し、取崩額が近年の平均よりも増加する見込みであるため、繰入に過度に依存しない計画的な財政運営をより一層意識して行う必要がある。	
その他特定目的基金 (基金の使途) ・職員退職給与基金：職員の退職金に充当するため。 ・公共施設等総合管理基金：公共施設等の更新・改築・修繕及び除却に必要な資金に充てるため。 ・北部地域整備促進基金：北部地域の整備に必要な資金を確保し、当該北部地域の計画的なまちづくりを促進するため。 ・公共施設整備基金：公共施設の整備事業資金に充てるため。 ・こども未来基金：子育てしやすい環境づくりの推進や教育環境の整備に充てるため。 (増減理由) ・職員退職給与基金：取り崩しを行わず、予定していた積み立てを行ったことで増加した。 ・公共施設等総合管理基金：公共施設の更新等経費に充てるため一部取り崩したものの、決算剰余金の一部の積み立てを行ったことで全体として増加した。 ・北部地域整備促進基金：市北部地域のまちづくり事業に充てるため取り崩しを行った。 ・こども未来基金：教育環境整備経費に充てるため一部取り崩したものの、決算剰余金の一部の積み立てを行ったことで全体として増加した。 (今後の方針) ・公共施設等総合管理基金：公共施設の老朽化が進行していることから、今後、大規模改修等に多額の費用が必要となることが予想されるため、補助金や地方債も活用し、基金からの過度な繰り入れとならないよう調整を行っていく。 ・北部地域整備促進基金：北部地域整備の本格化が見込まれることから、補助金や地方債も活用し、基金の計画的な活用と運用を調整していく。 ・こども未来基金：小中学校の大規模改修や生駒南小学校・中学校整備事業など、多額の費用が必要となることが予想されるため、補助金や地方債も活用し、基金の計画的な活用と運用を調整していく。	